

「責任」を果たすこと

千葉市立松ヶ丘中学校 3年 森竹 美優

「国民への税負担が大きくなってきています。」

消費税が国民生活に負担を与えているという趣旨のニュースがテレビから流れてきた。

「これから私達を中心となって税金を払っていくのに、国民に負担なんてかけないでほしいよね。」

「そうだね。」

こんな会話を、1年程前に友達と交わした。私は密かに、何でこんなことを言ってしまったのかと、今でも取り消したい程後悔している。

私の祖母は、いくつか目の病気を患っている。身体障害2級である祖母は、視野が狭く、色の判別が難しく、周囲の環境によっては前が全く見えないこともある。私が生まれた時から病気は患っていたものの、今よりはずっと目の状態が良かったため、「小さいころのあなたの笑っている顔が、今でも頭の中に焼き付いているのよ。」と、嬉しそうによく話してくれる。祖母にとって初孫である私は、幼いころから今日まで、たくさんの愛情を受けて育ってきたと実感している。そんな祖母と一緒に、家族で栃木県に出掛ける機会があった。観光地やショッピングモールなど様々な場所へ立ち寄ったが、どこへ行っても車椅子マークのついた優先駐車場に車を停めた。車から降りると、祖母と腕を組み、段差や通過する車に細心の注意を払って歩く必要があるため、優先駐車場は私や祖母にとってありがたいものである。少し出歩くだけでもこれだけの支援が必要なのだ。そんな祖母の近くにいるだけで、祖母が人一倍苦労していることは自然と理解することができた。

そこで、他にも祖母の生活の助けになる支援はないのか調べてみた。すると、福祉電話を買う際や手すりを設置するリフォームをする際、身体障害者以外の運転で外出をする際などに支援があるとわかった。様々な支援の中でも、一人での移動が難しい祖母が自由に外出するための支援があることが、祖母や私にとっては一番ありがたいものだと感じた。そして、それらが税金によって支えられていると知り、私は感謝の気持ちでいっぱいになった。だんだん視野が狭くなっていき、視界も暗くなっていく経験をしている祖母の苦しみや大変さを思うと胸が苦しくてたまらなくなるが、これからは大好きな祖母を、税金の助けを得ながら、責任をもって守っていきたいと思う。

私が1年前に言ってしまった言葉は、これからも私の心の中に残り続け、一生忘れることができないかもしれない。自分の言動に責任をもつこと、祖母を守ることに責任をもつことの大切さを、私は税金を通して知ることができた。祖母は私に言う。

「どうか私のように困っている人の為にも、責任を持って税を納められる大人になってほしい。」と。